

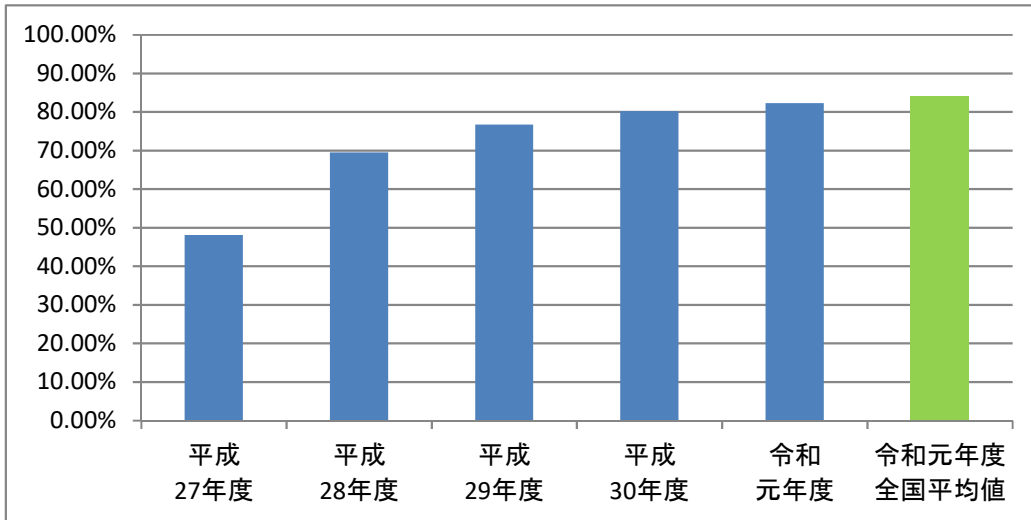
71.後発医薬品使用率(数量ベース)

項目の解説

後発医薬品切替可能薬品のうち、実際に消費した後発医薬品の数量に占める割合を表す指標です。後発医薬品の普及は、患者の自己負担の軽減や医療保険財政の改善に資するものとなります。この指標により、政府が定める数量シェア目標にどれだけ貢献しているかを示すことができます。

当院の実績

平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和元年度 全国平均値
48.10%	69.50%	76.70%	80.20%	82.30%	84.13%



全国平均値は国立大学附属病院の平均値です。

定義

前年10月1日～9月30日の1年間の入院における後発医薬品使用率です。

以下の式で算出します。

後発医薬品使用率 = (後発医薬品使用数量 ÷ 後発医薬品切替可能数量(※)) × 100

(※) 後発医薬品切替可能数量 = 後発医薬品のある先発医薬品の使用数量 + 後発医薬品の使用数量



九州大学病院

KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL